

平成26年度

埼玉東部消防組合一般会計

決算審査意見書

埼玉東部消防組合監査委員

目 次

第1	審査対象	1
第2	審査期日	1
第3	審査方法	1
第4	審査結果	1
1	決算概要	2
(1)	総括	2
(2)	歳入	3
(3)	歳出	10
2	実質収支に関する調書	20
3	財産に関する調書	20
(1)	公有財産	20
(2)	物品	20
(3)	債権	20
第5	審査所見	20
第6	歳出決算の主な不用額調書（100万円以上）	22

凡 例

- 1 数値の単位未満の端数は、原則として四捨五入した。
- 2 合計額の差異は、端数処理によるものである。
- 3 比率（％）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。したがって、構成比率（％）は、
合計が 100.0 とならない場合がある。
- 4 符合等の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」・・・・・・・・・・該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「 - 」・・・・・・・・・・該当数値なし
 - 「▲」・・・・・・・・・・ マイナス

平成26年度埼玉東部消防組合一般会計決算審査意見書

第1 審査対象

- 1 平成26年度埼玉東部消防組合一般会計歳入歳出決算
- 2 付属書類
 - (1) 平成26年度埼玉東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
 - (2) 平成26年度埼玉東部消防組合一般会計実質収支に関する調書
 - (3) 平成26年度埼玉東部消防組合財産に関する調書

第2 審査期日

平成27年8月18日

第3 審査方法

審査にあたっては、管理者から提出された決算書類が法令に基づく様式により調製されているか、計数に誤りはないか、予算が適正かつ効率的に執行されているか等について、会計管理者をはじめとする関係職員から説明を受け、関係諸帳簿及び証書類との照合等の審査を実施した。

第4 審査結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書等は、いずれも関係法令に基づく様式により作成されており、歳入歳出決算書等に記載された計数については、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、決算内容及び予算執行状況についても、全般的に適正であると認めた。なお、決算概要等は、次のとおりである。

1 決算概要

(1) 総括

一般会計決算は、歳入総額の7,769,093,467円に対して、歳出総額が7,406,099,788円であり、歳入歳出差引額は362,993,679円であった。

平成26年度決算は、平成25年度と比較した場合、予算規模、歳入歳出決算額が増加しているが、これは平成25年度からの繰越明許費繰越額によるものである。

繰越明許費繰越額に係る収支を除く単年度収支では、歳入総額6,404,388,467円に対し、歳出総額は6,143,490,310円で、歳入については1.1%の増、歳出については1.5%の増、予算額に対する執行率は96.0%、歳入歳出差引額は260,898,157円となっており、予算に対して適切に事務が執行されたものと判断する。

なお、一般会計決算の収支状況等は、次表のとおりである。

(単位：円)

年 度	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	形式収支 (A) - (B) (C)	翌年度に繰り 越すべき財源 (D)	実質収支額 (C) - (D)
平成26年度	7,769,093,467	7,406,099,788	362,993,679	0	362,993,679
平成25年度	6,331,575,615	6,053,053,506	278,522,109	102,605,000	175,917,109
前 年 度 比	1,437,517,852	1,353,046,282	84,471,570	▲ 102,605,000	187,076,570

(2) 歳入

ア 歳入の状況

歳入については、予算現額の8,558,324,000円に対し、歳入決算額（収入済総額）は7,769,093,467円であり、予算現額に対する収入率は90.8%、調定額に対する収入率は100.0%となっている。

前年度と比較し、予算現額は178,732,000円の増、調定額、収入済額とも1,437,517,852円（うち繰越明許費繰越分を除く収入済額は72,812,852円）の増となっている。

分担金及び負担金、使用料及び手数料など、組合が自主的に収入を確保することのできる自主財源について、現年度においては6,371,872,467円であり、前年度に比べ約152,798,009円の増となり、歳入全体の99.5%を占めている。

一方、国・県支出金や地方債など、国や県の意思決定に基づく依存財源について、現年度においては32,516,000円で、前年度に比べ79,985,157円の減、構成比は0.5%で、自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされているが、当組合における分担金及び負担金は、組合市町からの負担金であり、組合規約により単独経費等の負担金についてはその用途が定められているため、依存財源的な性質を持っている。

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (%)	
						対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)
平成26年度	8,558,324,000	7,769,093,467	7,769,093,467	0	0	90.8	100.0
平成25年度	8,379,592,000	6,331,575,615	6,331,575,615	0	0	75.6	100.0
前年度比	178,732,000	1,437,517,852	1,437,517,852	0	0	-	-

イ 財源別歳入決算状況

(単位:円)

財 源	款	平成26年度決算額(収入済額)				収入率(%) (対調定)
		現 年 度	繰越明許費	計	構成比(%)	
自主財源	分担金及び負担金	6,170,112,000	-	6,170,112,000	79.4	100.0
	使用料及び手数料	7,573,511	-	7,573,511	0.1	100.0
	繰越金	175,917,109	102,605,000	278,522,109	3.6	100.0
	諸収入	17,059,847	-	17,059,847	0.2	100.0
	財産収入	1,210,000	-	1,210,000	0.0	100.0
	小 計	6,371,872,467	102,605,000	6,474,477,467	83.3	100.0
依存財源	組合債	10,600,000	1,262,100,000	1,272,700,000	16.4	100.0
	国庫支出金	21,916,000	-	21,916,000	0.3	100.0
	小 計	32,516,000	1,262,100,000	1,294,616,000	16.7	100.0
合 計		6,404,388,467	1,364,705,000	7,769,093,467	100.0	100.0

歳入決算額(収入済額)の主な款別の構成比率は、分担金及び負担金が79.4%、組合債が16.4%、繰越金が3.6%となっている。

1 款 分担金及び負担金

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)	
平成 2 6 年度	6,170,112,000	6,170,112,000	6,170,112,000	0	100.0	100.0	79.4
平成 2 5 年度	6,033,090,000	6,033,090,000	6,033,090,000	0	100.0	100.0	95.3
前 年 度 比	137,022,000	137,022,000	137,022,000	0	-	-	-

1 款分担金及び負担金の収入済額は、6,170,112,000 円であり、予算現額に対する収入率は 100%であった。

主な内容は、埼玉東部消防組合規約別表に基づき、広域化前の各消防本部における平成 2 1 年度から 2 3 年度までの平均の消防費決算額である共通経費と、それぞれの市・町の実情により各々負担する単独経費及び特別負担金で構成され、組合市町から負担していただいたものである。

本年度決算における負担額は、加須市 1,390,088,000 円、久喜市 2,118,145,000 円、幸手市 815,015,000 円、白岡市 625,683,000 円、宮代町 481,886,000 円、杉戸町 739,295,000 円であり、前年度と比較し、137,022,000 円増加している。

組合市町別、負担金区分別における前年度との比較については、次表のとおりである。

(ア) 共通経費

(単位：円)

市町	平成 2 6 年度 (A)		平成 2 5 年度 (B)		前年度比		歳入構成比 (%)	
	負担金額	負担割合 (%)	負担金額	負担割合 (%)	増減額 (A) - (B)	増減率 (%) (A) / (B)	平成 2 6 年度	平成 2 5 年度
加 須 市	1,336,122,000	22.5243590	1,312,228,000	22.9962923	23,894,000	1.8	17.2	20.7
久 喜 市	2,011,498,000	33.9098548	1,870,461,000	32.7791115	141,037,000	7.5	25.9	29.5
幸 手 市	813,571,000	13.7151886	805,779,000	14.1209679	7,792,000	1.0	10.5	12.7
白 岡 市	578,550,000	9.7532021	569,357,000	9.9777630	9,193,000	1.6	7.4	9.0
宮 代 町	453,988,000	7.6533346	421,073,000	7.3791428	32,915,000	7.8	5.8	6.7
杉 戸 町	738,169,000	12.4440609	727,361,000	12.7467225	10,808,000	1.5	9.5	11.5
合 計	5,931,898,000	100.0000000	5,706,259,000	100.0000000	225,639,000	4.0	76.4	90.1

平成 2 5 年度は給与改定に伴い減額補正を行った。また、市町の実情により整備している街角消火器管理事業や防火クラブ等管理事業について、平成 2 5 年 1 2 月 1 9 日の組合市町消防財政主管課長会議で協議し、平成 2 6 年 1 月 2 1 日の正副管理者会議で承認を経て、当該市町の単独経費としたことにより負担割合が変更になっている。

(イ) 単独経費

(単位：円)

市町	平成26年度(A)		平成25年度(B)		前年度比		歳入構成比 (%)	
	負担金額	負担割合 (%)	負担金額	負担割合 (%)	増減額 (A) - (B)	増減率 (%) (A) / (B)	平成26年度	平成25年度
加須市	24,570,000	62.8742515	10,817,000	31.9273908	13,753,000	127.1	0.3	0.2
久喜市	11,802,000	30.2011362	15,688,000	46.3046045	▲ 3,886,000	▲ 24.8	0.2	0.2
幸手市	778,000	1.9908900	1,585,000	4.6782763	▲ 807,000	▲ 50.9	0.0	0.0
白岡市	618,000	1.5814525	2,175,000	6.4197166	▲ 1,557,000	▲ 71.6	0.0	0.0
宮代町	789,000	2.0190388	2,042,000	6.0271547	▲ 1,253,000	▲ 61.4	0.0	0.0
杉戸町	521,000	1.3332310	1,573,000	4.6428571	▲ 1,052,000	▲ 66.9	0.0	0.0
合計	39,078,000	100.0000000	33,880,000	100.0000000	5,198,000	15.3	0.5	0.5

(ウ) 特別負担金

(単位：円)

市町	平成26年度(A)		平成25年度(B)		前年度比		歳入構成比 (%)	
	負担金額	負担割合 (%)	負担金額	負担割合 (%)	増減額 (A) - (B)	増減率 (%) (A) / (B)	平成26年度	平成25年度
加須市	29,396,000	14.7617709	3,085,000	1.0530771	26,311,000	852.9	0.4	0.0
久喜市	94,845,000	47.6282541	192,856,000	65.8321699	▲ 98,011,000	▲ 50.8	1.2	3.0
幸手市	666,000	0.3344448	235,000	0.0802182	431,000	183.4	0.0	0.0
白岡市	46,515,000	23.3584083	47,529,000	16.2242150	▲ 1,014,000	▲ 2.1	0.6	0.8
宮代町	27,109,000	13.6133095	49,034,000	16.7379528	▲ 21,925,000	▲ 44.7	0.3	0.8
杉戸町	605,000	0.3038125	212,000	0.0723671	393,000	185.4	0.0	0.0
合計	199,136,000	100.0000000	292,951,000	100.0000000	▲ 93,815,000	▲ 32.0	2.6	4.6

2 款 使用料及び手数料

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)	
平成 2 6 年度	5,495,000	7,573,511	7,573,511	2,078,511	137.8	100.0	0.1
平成 2 5 年度	5,190,000	8,676,891	8,676,891	3,486,891	167.2	100.0	0.1
前 年 度 比	305,000	▲ 1,103,380	▲ 1,103,380	▲ 1,408,380	-	-	-

2 款使用料及び手数料の収入済額は、7,573,511 円であり、予算現額に対する収入率は 137.8%であった。

主な内容は、埼玉東部消防組合行政財産の使用料に関する条例及び埼玉東部消防組合手数料条例に基づいて徴収するもので、消防使用料が 1,188,361 円、消防手数料が 6,385,150 円となっており、前年度と比較し、1,103,380 円減少している。

なお、消防使用料は、庁舎に設置された自動販売機等の行政財産使用料である。

消防手数料は、危険物や火薬類の申請に係る審査及び許可手数料等である。

3 款 繰越金

(単位：円)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)	
現 年 度	175,913,000	175,917,109	175,917,109	4,109	100.0	100.0	2.3
繰 越 明 許 (繰越財源充当額)	102,605,000	102,605,000	102,605,000	0	100.0	100.0	1.3
合 計	278,518,000	278,522,109	278,522,109	4,109	100.0	100.0	3.6

3 款繰越金の収入済額は、278,522,109 円であり、予算現額に対する収入率は 100%であった。

なお、広域化後初年度決算となった平成 2 5 年度からの繰越金となるため、前年度と比較することはできない。

4 款 諸収入

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)	
平成 2 6 年度	14,473,000	17,059,847	17,059,847	2,586,847	117.9	100.0	0.2
平成 2 5 年度	172,810,000	177,106,567	177,106,567	4,296,567	102.5	100.0	2.8
前 年 度 比	▲ 158,337,000	▲ 160,046,720	▲ 160,046,720	▲ 1,709,720	-	-	-

4 款諸収入の収入済額は、17,059,847 円であり、予算現額に対する収入率は 117.9%であった。

主な内容は、組合預金利子や救急業務受託事業収入（東北自動車道救急業務支弁金）及び雑入（団体保険事務取扱手数料、駐車場協力金等）である。

なお、太陽光発電余剰電力売却金 90,216 円は、白岡消防署篠津分署に設置された太陽光発電設備によるものであるため、白岡市の特別負担金事業である篠津分署業務管理事業に充当している。また、地方公務員災害補償基金負担金返還金 309,107 円のうち、共通経費分が 294,070 円、篠津分署給与費分が 7,628 円、旧久喜地区消防組合事務継承給与費分が 7,409 円（うち久喜市分 6,017 円、宮代町分 1,392 円）である。

また、前年度と比べ収入済額が 160,046,720 円の減となっているのは、平成 2 5 年度については旧久喜地区消防組合の解散に伴う剰余金 162,332,177 円が含まれていたことによるものである。

5 款 組合債

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)	
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)		
平成 2 6 年度	現 年 度	10,600,000	10,600,000	10,600,000	0	100.0	100.0	0.1
	繰 越 明 許	2,056,000,000	1,262,100,000	1,262,100,000	▲ 793,900,000	61.4	100.0	16.2
	合 計	2,066,600,000	1,272,700,000	1,272,700,000	▲ 793,900,000	61.6	100.0	16.4
平成 2 5 年度	2,166,300,000	110,300,000	110,300,000	▲ 2,056,000,000	5.1	100.0	1.8	
前 年 度 比	▲ 99,700,000	1,162,400,000	1,162,400,000	1,262,100,000	-	-	-	

5 款組合債の収入済額は、1,272,700,000 円であり、予算現額に対する収入率は 61.6%であった。

内容は、消防施設整備事業債（消防庁舎耐震補強事業、加須市防火水槽整備事業及び繰越明許した高機能消防指令センター整備事業）によるものである。

このうち、消防庁舎耐震補強事業及び加須市防火水槽整備事業については、単独経費事業のため、本組合債に係る元利償還金については加須市が単独経費で負担する。

高機能消防指令センター整備事業については、平成26年3月27日付けで組合市町が締結した「高機能消防指令センター整備等に関する協定書」に基づき、本組合債に係る元利償還金については、特別負担金として組合市町が負担するものとされている。

なお、消防広域化により解散した旧久喜地区消防組合の組合債については、埼玉東部消防組合が承継しており、これの元利償還金については、完済するまで組合を構成していた久喜市と宮代町において負担する。

(単位：円)

区 分		平成25年度末残高	平成26年度中増減額	平成26年度末残高
常 備 分	共通経費	93,100,000	0	93,100,000
	特別負担金	12,600,000	1,262,100,000	1,274,700,000
非常備分	単独経費（加須市）	4,600,000	10,600,000	15,200,000
旧久喜地区消防組合分		401,144,338	▲ 126,618,985	274,525,353
合 計		511,444,338	1,146,081,015	1,657,525,353

6 款 国庫支出金

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)	
平成26年度	21,916,000	21,916,000	21,916,000	0	100.0	100.0	0.3

6 款国庫支出金の収入済額は、21,916,000 円であり、予算現額に対する収入率は 100%であった。

内容は、宮代消防署及び中島出張所の消防ポンプ自動車2台について、更新整備にあたり災害対応特殊消防ポンプ自動車として、緊急消防援助隊設備整備費補助金の交付を受けたものである。

なお、前年度は当該科目の収入実績はなかった。

7 款 財産収入

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	予算現額に 対する増減 (C) - (A)	収入率 (%)		歳 入 構成比 (%)
					対予算 (C) / (A)	対調定 (C) / (B)	
平成 2 6 年度	1,210,000	1,210,000	1,210,000	0	100.0	100.0	0.0
平成 2 5 年度	1,000	201,000	201,000	200,000	20,100.0	100.0	0.0
前 年 度 比	1,209,000	1,009,000	1,009,000	▲ 200,000	-	-	-

7 款財産収入の収入済額は、1,210,000 円であり、予算現額に対する収入率は 100%であった。

内容は、平成 1 4 年に救急振興財団から寄贈を受けた救急普及啓発車について、老朽化等に伴い売却したものである。

(3) 歳出

ア 歳出の状況

歳出については、予算現額の 8,558,324,000 円に対し、支出済額は 7,406,099,788 円であり、不用額は 1,152,224,212 円、予算現額に対する執行率は 86.5%となっている。

(単位：円)

年 度		予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)
平成 2 6 年度	現 年 度	6,399,719,000	6,143,490,310	0	256,228,690	96.0
	繰 越 明 許	2,158,605,000	1,262,609,478	0	895,995,522	58.5
	合 計	8,558,324,000	7,406,099,788	0	1,152,224,212	86.5
平成 2 5 年度		8,379,592,000	6,053,053,506	2,158,605,000	167,933,494	72.2
前 年 度 比		178,732,000	1,353,046,282	▲ 2,158,605,000	984,290,718	-

前年度と比較し、不用額が 984,290,718 円増加しているが、これは、主に繰越明許費として繰り越した高機能消防指令センター整備事業について、予算現額 2,158,605,000 円に対し、入札等の結果、支出済額が 1,262,609,478 円となり、不用額が 895,995,522 円生じたことによるものである。

イ 款別歳出決算状況

(単位:円)

款	予算現額 (A)	支出済額 (B)	構成比率 (%)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)
1 議会費	2,562,000	2,274,000	0.0	0	288,000	88.8
2 総務費	1,670,000	1,351,234	0.0	0	318,766	80.9
3 消防費	8,247,612,000	7,272,805,155	98.2	0	974,806,845	88.2
4 公債費	129,730,000	129,669,399	1.8	0	60,601	100.0
5 予備費	176,750,000	0	0.0	0	176,750,000	0.0
合計	8,558,324,000	7,406,099,788	100.0	0	1,152,224,212	-

歳出決算額（支出済額）の主な款別の構成比率は、3款の消防費が98.2%、4款の公債費が1.8%となっている。

また、3款消防費の不用額974,806,845円のうち、前述の高機能消防指令センター整備事業によるものが895,995,522円となっている。

1 款 議会費

(単位:円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成26年度	2,562,000	2,274,000	0	288,000	88.8	0.0
平成25年度	2,643,000	2,140,944	0	502,056	81.0	0.0
前年度比	▲ 81,000	133,056	0	▲ 214,056	-	-

1款議会費の支出済額は、2,274,000円であり、予算現額に対する執行率は88.8%であった。

主な内容は、消防組合議会の議員報酬が888,999円、組合議会会議録作成業務委託料が612,574円であった。

2款 総務費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	1,670,000	1,351,234	0	318,766	80.9	0.0
平成 2 5 年度	3,706,000	2,769,173	0	936,827	74.7	0.1
前 年 度 比	▲ 2,036,000	▲ 1,417,939	0	▲ 618,061	-	-

2款総務費の支出済額は、1,351,234円であり、予算現額に対する執行率は80.9%であった。

主な内容は、1項1目一般管理費における正副管理者、産業医及び情報公開・個人情報保護運営審議会委員の報酬が1,106,500円であった。

3款 消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)	
平成 26 年度	現 年 度	6,089,007,000	6,010,195,677	0	78,811,323	98.7	81.2
	繰越明許	2,158,605,000	1,262,609,478	0	895,995,522	58.5	17.0
	合 計	8,247,612,000	7,272,805,155	0	974,806,845	88.2	98.2
平成 2 5 年度	8,138,266,000	5,891,987,911	2,158,605,000	87,673,089	72.4	97.3	
前 年 度 比	109,346,000	1,380,817,244	▲ 2,158,605,000	887,133,756	-	-	

3款消防費の支出済額は、7,272,805,155円であり、予算現額に対する執行率は88.2%であった。

3款 消防費 1項1目 常備消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成26年度	5,956,021,000	5,884,523,770	0	71,497,230	98.8	79.5
平成25年度	5,826,822,000	5,741,842,571	0	84,979,429	98.5	94.9
前 年 度 比	129,199,000	142,681,199	0	▲ 13,482,199	-	-

3款消防費のうち、1項1日常備消防費の支出済額は5,884,523,770円であり、予算現額に対する執行率は98.8%であった。

主な内容は、人件費が5,487,513,053円で、歳出決算額の74.1%を占めているほか、職員へ貸与する制服や活動服等の被服費45,461,522円、庁舎光熱水費37,915,086円、消防車両等の燃料費26,948,760円、杉戸消防署庁舎外壁等改修工事14,688,000円等である。

なお、1日常備消防費のうち、白岡市の特別負担金である篠津分署職員給与費及び篠津分署業務管理事業、加須市の特別負担金である加須消防署新庁舎維持管理事業は、次のとおりであった。

篠津分署関係経費

(単位：円)

年 度		予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成26年度	給 与 費	37,100,000	34,051,064	0	3,048,936	91.8	0.5
	業務管理事業費	10,463,000	8,884,761	0	1,578,239	84.9	0.1
	合 計	47,563,000	42,935,825	0	4,627,175	90.3	0.6
平成25年度	給 与 費	35,496,000	30,838,820	0	4,657,180	86.9	0.5
	業務管理事業費	11,962,000	9,691,186	0	2,270,814	81.0	0.2
	合 計	47,458,000	40,530,006	0	6,927,994	85.4	0.6
前 年 度 比	給 与 費	1,604,000	3,212,244	0	▲ 1,608,244	-	-
	業務管理事業費	▲ 1,499,000	▲ 806,425	0	▲ 692,575	-	-
	合 計	105,000	2,405,819	0	▲ 2,300,819	-	-

加須消防署関係経費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	28,331,000	11,587,802	0	16,743,198	40.9	0.2

平成 2 6 年 4 月開署のため、前年度比較はなし。

予算額については、加須市において算定した額により措置したものの。

3 款 消防費 1 項 2 目 常備消防施設費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	2,250,776,000	1,351,147,670	0	899,628,330	60.0	18.2
平成 2 5 年度	2,278,940,000	120,040,509	2,158,605,000	294,491	5.3	2.0
前 年 度 比	▲ 28,164,000	1,231,107,161	▲ 2,158,605,000	899,333,839	-	-

3 款消防費のうち、1 項 2 目常備消防施設費の支出済額は 1,351,147,670 円であり、予算現額に対する執行率は 60.0%であった。

主な内容は、消防自動車等整備事業 82,199,692 円及び高機能消防指令センター整備事業 1,262,609,478 円である。

消防自動車等整備事業は共通経費事業であり、車両更新計画等に基づき、指揮車 1 台、指令車 4 台、消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 2 台を更新した。

高機能消防指令センター整備事業は特別負担金事業であり、平成 2 5 年度からの繰越明許事業として、高機能消防指令センター及び消防救急無線デジタル無線整備に係る工事と施工管理業務委託等を実施した。事業費のうち、1,262,100,000 円については組合債を活用している。

高機能消防指令センター整備事業 (繰越明許費分) の事業費詳細は、次表のとおりである。

3款 消防費 1項2目 常備消防施設費（繰越明許費分）

（単位：円）

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成26年度	2,158,605,000	1,262,609,478	0	895,995,522	58.5	17.0

常備消防施設費（繰越明許費分）の支出済額は1,262,609,478円であり、予算現額に対する執行率は58.5%であった。

予算現額に対し、執行率が大幅に低くなった理由は、高機能消防指令センター整備に伴う工事等について指名競争入札の結果、予算現額に対し安価に契約をすることができたものである。その結果、895,995,522円の不用額が生じている。

3款 消防費 1項3目 加須非常備消防費

（単位：円）

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成26年度	16,255,000	14,777,700	0	1,477,300	90.9	0.2
平成25年度	6,032,000	5,802,013	0	229,987	96.2	0.1
前 年 度 比	10,223,000	8,975,687	0	1,247,313	-	-

3款消防費のうち、1項3目加須非常備消防費の支出済額は14,777,700円であり、予算現額に対する執行率は90.9%であった。

この科目は加須市の単独経費による事業であり、主な内容は、消防行政関係団体（加須市危険物防火安全協会・加須市女性防火クラブ・加須市消防支援会）への負担金及び補助金 900,000 円のほか、地上式防火水槽有蓋化工事 7,560,000 円、老朽化や地権者の要請等による防火水槽撤去工事 3,434,400 円等である。

なお、加須市管内における無蓋防火水槽は、平成26年度末現在で98基あり、今後も計画的に整備を図る必要がある。

3款 消防費 1項4目 久喜非常備消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	11,802,000	10,425,052	0	1,376,948	88.3	0.1
平成 2 5 年度	13,765,000	12,176,738	0	1,588,262	88.5	0.2
前 年 度 比	▲ 1,963,000	▲ 1,751,686	0	▲ 211,314	-	-

3款消防費のうち、1項4目久喜非常備消防費の支出済額は10,425,052円であり、予算現額に対する執行率は88.3%であった。

この科目は久喜市の単独経費による事業であり、主な内容は、消防行政関係団体（婦人（女性）防火クラブ）への補助金 990,000円、街角消火器の更新等 925,241円、地上式防火水槽有蓋化工事 4,644,000円等である。

なお、久喜市管内における無蓋防火水槽は、平成26年度末現在で39基あり、今後も計画的に整備を図る必要がある。

3款 消防費 1項5目 幸手非常備消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	778,000	692,524	0	85,476	89.0	0.0
平成 2 5 年度	885,000	806,513	0	78,487	91.1	0.0
前 年 度 比	▲ 107,000	▲ 113,989	0	6,989	-	-

3款消防費のうち、1項5目幸手非常備消防費の支出済額は692,524円であり、予算現額に対する執行率は89.0%であった。

この科目は幸手市の単独経費による事業であり、主な内容は、防火水槽用地の借上料 601,900円等である。

3款 消防費 1項6目 白岡非常備消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	618,000	615,522	0	2,478	99.6	0.0
平成 2 5 年度	1,475,000	1,443,772	0	31,228	97.9	0.0
前 年 度 比	▲ 857,000	▲ 828,250	0	▲ 28,750	-	-

3款消防費のうち、1項6目白岡非常備消防費の支出済額は615,522円であり、予算現額に対する執行率は99.6%であった。

この科目は白岡市の単独経費による事業であり、消防行政関係団体（白岡市防火安全協会）への補助金 77,000 円、防火水槽修繕料 356,400 円、防火水槽用地の借上料 182,122 円である。

3款 消防費 1項7目 宮代非常備消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	789,000	545,913	0	243,087	69.2	0.0
平成 2 5 年度	1,357,000	1,083,003	0	273,997	79.8	0.0
前 年 度 比	▲ 568,000	▲ 537,090	0	▲ 30,910	-	-

3款消防費のうち、1項7目宮代非常備消防費の支出済額は545,913円であり、予算現額に対する執行率は69.2%であった。

この科目は宮代町の単独経費による事業であり、主な内容は、消防行政関係団体（婦人防火クラブ）への補助金 170,000 円、街角消火器の更新 283,332 円等である。

3款 消防費 1項8目 杉戸非常備消防費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	521,000	411,004	0	109,996	78.9	0.0
平成 2 5 年度	873,000	760,292	0	112,708	87.1	0.0
前 年 度 比	▲ 352,000	▲ 349,288	0	▲ 2,712	-	-

3款消防費のうち、1項8目杉戸非常備消防費の支出済額は411,004円であり、予算現額に対する執行率は78.9%であった。

この科目は杉戸町の単独経費による事業であり、主な内容は、防火水槽用地の借上料 206,655 円、水利施設道路ペイント表示工事 121,500 円等である。

3款 消防費 1項9目 加須非常備消防施設費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	10,052,000	9,666,000	0	386,000	96.2	0.1
平成 2 5 年度	8,117,000	8,032,500	0	84,500	99.0	0.0
前 年 度 比	1,935,000	1,633,500	0	301,500	-	-

3款消防費のうち、1項9目加須非常備消防施設費の支出済額は9,666,000円であり、予算現額に対する執行率は96.2%であった。

この科目は、加須市の単独経費による事業であり、防火水槽新設に係る設計業務委託料 810,000 円と、その工事費 8,856,000 円である。

4 款 公債費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	129,730,000	129,669,399	0	60,601	100.0	1.8
平成 2 5 年度	156,967,000	156,155,478	0	811,522	99.5	2.6
前 年 度 比	▲ 27,237,000	▲ 26,486,079	0	▲ 750,921	-	-

4 款公債費の支出済額は、129,669,399 円であり、予算現額に対する執行率は 100%であった。

主な内容は、久喜市及び宮代町の特別負担金による 1 項 1 目元金償還事業（旧久喜地区消防組合分）126,618,985 円、同項 2 目利子償還事業（旧久喜地区消防組合分）2,890,701 円のほか、共通経費による同項 2 目利子償還事業（常備分）112,958 円、加須市単独経費による利子償還事業（加須市）5,580 円等である。

5 款 予備費

(単位：円)

年 度	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	執行率 (%) (B) / (A)	歳 出 構成比 (%)
平成 2 6 年度	176,750,000	0	0	176,750,000	0.0	0.0
平成 2 5 年度	78,010,000	0	0	78,010,000	0.0	0.0
前 年 度 比	98,740,000	0	0	98,740,000	-	-

5 款予備費の支出済額は 0 円であり、不用額は 176,750,000 円であった。

なお、予備費の充用先については、職員の公務災害に伴う埼玉東部消防組合職員公務災害等見舞金支給条例に基づく療養見舞金 24,000 円、人事異動により駐車場が不足したことに伴う幸手消防署職員駐車場用地借上料 128,000 円、津波・大規模風水害対策車両の無償貸与に伴い加須消防署に水難救助隊を発足させるための潜水技術研修等負担金 903,000 円、北川辺分署耐震補強・改築工事設計業務委託のうち共通経費負担分となる改修工事分 1,080,000 円である。

2 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書の記載事項は、適正に表示されているものと認められた。

3 財産に関する調書

(1) 公有財産

建物の当該年度末延床面積現在高は 20,245.18 m²で、すべてが行政財産である。

なお、平成26年4月1日の加須消防署新庁舎開署に伴い4,215.80 m²の増、また、平成27年1月16日の高機能消防指令センター運用開始に伴い閉鎖した加須消防署指令分室1,001.87 m²の減については、平成27年3月16日付けで加須市と公有財産無償譲渡契約書を締結し、3月末日に譲渡したものである。

(2) 物品

取得価格1件100万円以上の重要物品については、契約規則において定められた諸手続きの書類や備品台帳と照合調査したが、その結果、いずれも調書の記載内容に誤りが無いものと認められた。

消防車両については、前年度末に147台保有していたが、消防広域化に伴い署所間の車両の見直し等を実施した結果、平成26年度に7台更新整備し、13台廃棄したことにより、当年度末時点で141台となっている。

(3) 債権

なし。

第5 審査所見

1 平成26年度埼玉東部消防組合一般会計の決算状況は、歳入総額7,769,093,467円、歳出総額7,406,099,788円であった。

平成25年度と比べ、歳入、歳出ともに約13億円増加しているが、これは高機能消防指令センター整備に係る費用の繰越明許費繰越額によるものであり、予算執行状況としては適切であったと判断する。

2 平成26年度決算における義務的経費は5,578,399千円であり、歳出総額の75.8%を占めている。平成25年度からの繰越明許費繰越事業を除いた場合の義務的経費の割合は90.1%である。

単年度収支における不用額 260,898 千円のうち、人件費における不用額は 13,528 千円で、これは、災害の発生状況により大きく左右され、消防行政という特殊な業務の性質上、予算編成時において不用額が生じないよう編成することは容易ではないと思われるところであるが、少しでも予算額と決算額の乖離をなくすよう精緻な予算編成に努め、限りある歳入予算の有効活用を図る必要がある。

また、組合市町における単独経費・特別負担金に係る決算剰余金については、決算認定後に清算し各市町に返還しているが、共通経費分の決算剰余金については、予備費に留保し一般財源として活用している状況である。決算剰余金の取り扱いについては、基金設置等も含め、適切な取り扱いについて検討していただきたい。

- 3 埼玉東部消防組合は、この地域の安心・安全を担うため、これまでの各種教育機関への職員の派遣や救急救命士をはじめとする高度な知識、技術を要する職員の養成、車両の更新や資機材の配備等、消防広域化のメリットを活かし、消防力の強化に努めてきた。

特に平成 26 年度は、高機能消防指令センターを整備し、システムの一元化と併せ、新たな通信指令体制を構築し、出動態勢の強化を図るとともに、職員の再配置により消防署所人員の拡充を図ったところである。

現在、職員の大量定年退職、大量採用期を迎え、組織の急激な若返りが危惧されるところであるが、計画的に職員採用を図りながら知識、技術の伝承に努め、更なる消防力の充実強化に努めていただきたい。

- 4 埼玉東部消防組合は、加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町及び杉戸町による負担金により運営しており、それ以外の自主財源をほとんど持たないため、事業執行にあたっては組合市町の負担を伴うものである。特に、平成 26 年度に整備した高機能消防指令センターは、そのほとんどの経費について組合債を財源としているが、後年度の元利償還金は組合市町の特別負担金とされており、保守等の維持管理費用と併せ、今後大きな負担を強いるものである。

また、組合発足時に各組合市町から無償譲渡を受けた庁舎等について、老朽化の著しい施設、設備等において、故障、不具合等が頻発しており、庁舎維持管理費用は年々増加傾向にある。

さらに、消防活動の基本となる車両の更新もままならず、計画の延伸等により対応しているのが現状であり、組合市町と同様、厳しい財政運営を迫られている。

今後は、埼玉東部消防組合が目指すべき将来の消防力及び財政運営計画等を十分に検討し、直接住民サービスに影響することを十分認識し、今まで以上に組合市町と連絡調整を密にして計画の策定に努めるとともに、庁舎、車両等の消防組合の保有する財産等の維持管理について、中長期的なビジョンのもと、適切な行財政運営に努めていただきたい。